

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	哺乳類におけるプライマーフェロモンの同定と神経生理基盤の解明
研究代表者	東原 和成 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、マウスとヒトにおいて発情、性周期、妊娠などの生殖機能に影響するプライマーフェロモン群を同定し、その受容体、神経回路、内分泌変化を明らかにすることを目的としたものであり、良く練られた方法論と豊富な実績に裏打ちされた独自性・先進性の高い研究計画となっている。これまで応募者は性フェロモンや受容体の同定、高次脳レベルの行動制御神経回路の解明などを通じて国内外の嗅覚研究を牽引してきており、本研究が実施されることで、これまでほとんど手つかずであったプライマーフェロモン研究に新たな地平が拓かれるものと期待できる。</p>